

主な活動の紹介

○コーディネーターとしての活動

- ・ 学校支援本部からの事業の提案
- ・ ボランティアの発掘（募集）
- ・ 広報誌「みんなの手で」の発行及び学校のホームページへの掲載
- ・ 学校支援活動の依頼、調整
- ・ ボランティア来校時の対応（送迎と名札作り等）
- ・ 地域情報の提供及び活用

○ボランティア活動の内容

- ・ 教科学習
社会科での歴史探訪、生活科での校外学習支援(安全確保)
家庭科でのミシンの使い方指導
- ・ 総合的な学習の時間
ホテル飼育のためのカワナとり・ホテルの放流・ホテルの生態についての指導、大内塗体験、しめ縄作り、焼き芋会、世界の食糧（食育）、留学生との異文化交流、大内文化の学習
- ・ 特別活動(クラブ活動)
英語で遊ぼう、山口祇園囃子
- ・ 読み聞かせ活動（朝の読み聞かせの会、お話会）
- ・ 環境整備等
学校環境整備、各種賞状の筆耕、図書室の本の整理及び補修、地域行事での作品展示準備

○学校支援本部としての活動内容

- ・ 夏休み宿題やつつけ大作戦（小中連携による活動）
- ・ 大殿地域給食試食会の開催（地域、県立大学との連携）



夏休み宿題やつつけ大作戦



カワナとり

成果と課題

学校支援ボランティアとして活動された方から「子どもたちの役に立ってよかった」との声が次第に増えてきています。こうした学校での有用感を感じられた皆さんが地域に広まることは、地域の教育力の向上にもつながるものと思われます。

学校で2回、3回と同じ活動に参加された方には、これまで経験した活動とは異なる活動への参加を要請しています。このことにより、一人ひとりの活動の幅が広がるとともに、より充実した学校支援活動を行うことができるようになりました。さらに、参加された皆さんの中には「自分にもこんなことができるなんて」という喜びを感じられると同時に、学校で自分自身の新たな一面を発見される方もおられます。

新しいボランティアの方にも積極的に教育活動を支援していただきながら、プラスワンの活動を常に考えながら学校の要請に応じています。更に地域協育ネットを組織的に推進するための体制づくりと、事業の持続性を考えるうえでの資金の確保が課題であると考えています。

今後の取組

今後は、小・中学校の連携を更に深めた独自事業の展開をしていくとともに、小・中・地域の行事等の共有化を図りながら、地域協育ネットを更に強固にしていきたいと考えています。